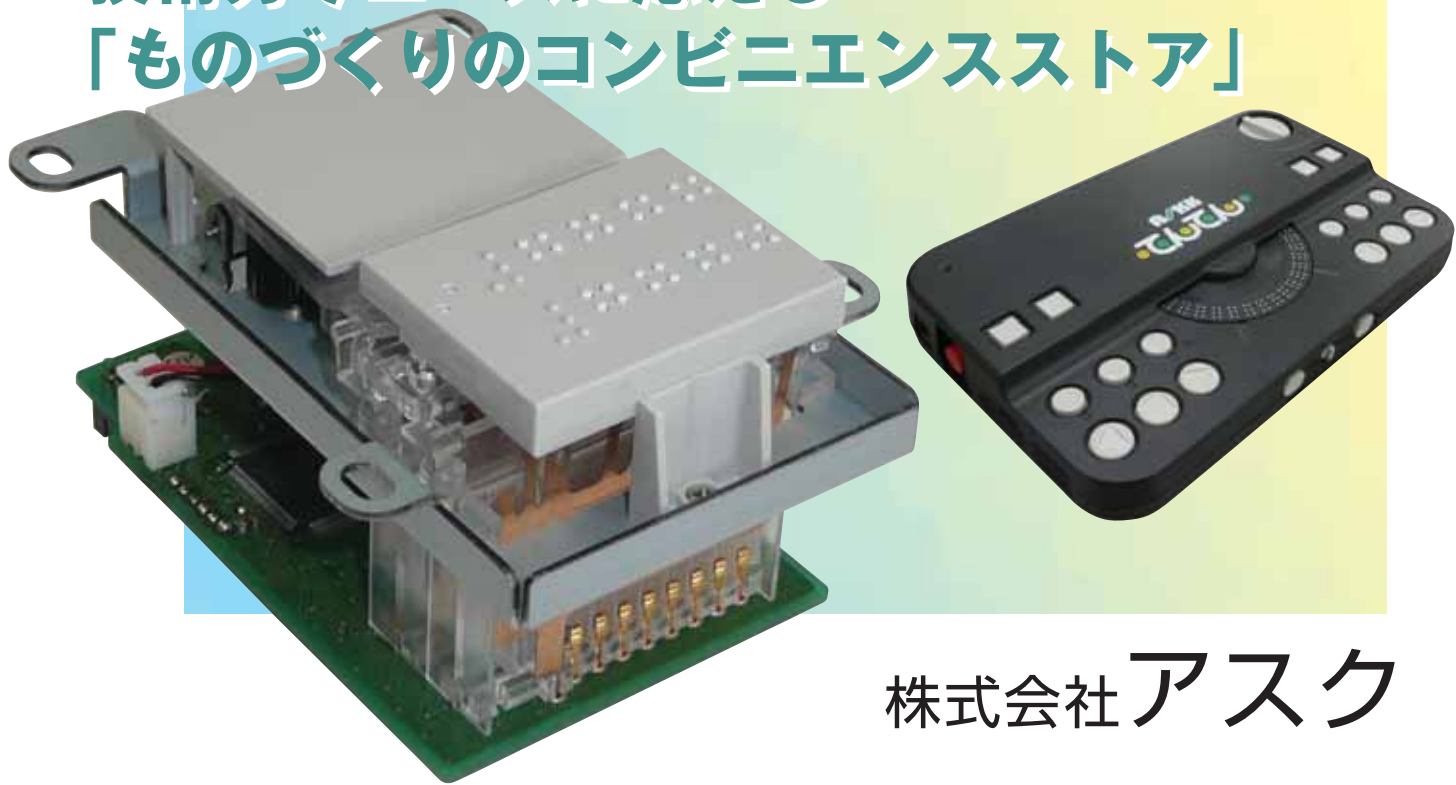


技術力でニーズに応える 「ものづくりのコンビニエンスストア」



株式会社アスク

独自の加工プログラムと最新鋭加工機でハイスピード対応！

切削加工やレーザー・プレス、ワイヤー放電等多品種少量の部品加工を得意とするアスク。同社のものづくりは見本市（または展示会）から始まる。来訪者の800枚の名刺をもとに、長倉貞雄相談役自らがお札の電話をかけるのだ。そこから新規開拓を行い、素早く見積りを取っていく。長倉相談役は「当社の強みはスピード」と言い切る。その背景には、独自のシステムがあった。

まず、見積りは1時間で出す。製造には自社開発の加工プログラムを導入。3次元CAD/CAMで複数軸加工のシミュレーションを行い、同時5軸制御マシニングセンターや5面加工マシン等最新鋭加工機を含む120台の設備を駆使して加工する。早ければ即日納品が可能だという。製品加工以外に、試作品の依頼も多く、取引先は全国各地400社にものぼる。

強みはスピードだけではない。同社の多くの技能士は国家技能検定資格の1級を持つため、仕上がり精度や検査能力にも優れている。3次



元測定機や表面粗さ測定機、投影機、エアーマイクロ等での厳しい検査で、さらに確かな品質を保証する。

世界初「点字ディスプレイ」

「ものづくりは他と違うことをやっていかないとけない」と語る長倉相談役。アスクは平成15年、部品製造以外に、大手家電メーカーのAV機器開発経験者OBを中心にしたアスク研究所を設立。点字ディスプレイの開発に取り組んでいる。今までは視覚障害者が点字を読むには、指を動かして点字を追わねばならなかった。慣れない人は指先に力が入り、疲れることが多かったのだという。だが、同社が開発した「ASKKてんてん」は、点字部分が円盤になって動いてくれる。指を1か所に置いたままで点字が読めるのだ。

しかも、パソコンに接続でき、インターネットの画面も読み取りが可能だという。重さはわずか430gと小型で軽量。バッグの中に入れて持ち運びができるのも大きな特徴だ。点字本24冊が記録できるため、飛行機や電車内でも使えると好評で、すでにシェアは15%に。自治体によっては視覚障害者の日常生活用具にも認定されている。

「個人の使用だけでなく図書館等にも設置いただいております。今後はATMや券売機、自動販売機等の点字表示にも進出していきたいと考えています」と山下篤哉社長は言う。従来のATM用点字表示装置は、20g程度の指圧で表示ピンが下がるという欠陥があった。同製品は点字表

示装置に形状記憶合金ワイヤーを使用することで、問題の解決に成功。1N（ニュートン）以上の指圧にも耐えられるのだ。

「今後は、この分野で世界オンリーワンを目指す」と話す長倉相談役と山下社長の思いは熱い。

主な事業内容

金属・樹脂全般における試作部品の加工、多品種少量精密部品加工、点字表示装置開発・製造・販売等



長倉貞雄さん
相談役



山下篤哉さん
代表取締役

Company Profile

株式会社アスク

住所 / 〒573-0128
大阪府枚方市津田山手2-18-1
設立 / 平成元年10月
資本金 / 9,900万円
従業員 / 56名（平成21年1月現在）
TEL / 072-808-5555
FAX / 072-808-5556



<http://www.askk.co.jp/>